

10月17日 「読書の秋 一心と頭の貯金箱」

先週から読書旬間が始まりました。

みなさんはどのような本が好きですか。校長先生は子供のころ、近くにある図書館にたくさん通って本を読みました。学校にも図書室はあったのですが、図書館にも通いました。

校長先生が好きだった本は、冒険ものです。マーク・トウェインという方が書かれた「トム・ソーヤの冒険」が大好きでした。いたずら大好き10歳のトムが親友のハックルベリーと一緒に、冒険をしながら宝物を発見する物語です。

次にはまったのが、推理小説です。江戸川乱歩という方が書かれた少年探偵団シリーズ。怪人20面相と少年探偵団が繰り広げる推理ものです。冒険ものも推理ものも、どのような展開になるか、はらはらどきどき、ぞくぞくしながら読んだことを覚えています。

図書室が懐かしくなって、桜野小学校の図書室に行ってみました。そうしたら、4年生が夢中になって本を読んでいました。桜野小学校の子供達は本が好きなんだなと思いました。そして、本棚を探してみると校長先生が子供の頃に読んだ本があったのです。これです。ページをめくってみると、子供時代に戻った感じがしてたいへん嬉しくなりました。また、学校の子供達が主人公になっている作品、大石 真さんが書かれた「チョコレート戦争」も見つかりました。

楽しくなって図書室を見回してみると、先生が子供の頃の図書室とは違った雰囲気を感じました。様々な種類の本、カラフルな本、絵本や百科事典、大きな本、小さな本、人気本、新しく入った本など、手に取って読みたくなる本がたくさんあります。また、今の社会で話題になっている言葉の本、例えば「SDGs」「サステナブル」など知っておくと得する本もありました。また、5・6年生の図書委員会の皆さんが作っているおすすめ本のポスターも発見しました。作成途中ということですので、完成が楽しみです。

桜野小学校の図書室は、素敵だなと感じました。心と頭の銀行のようです。そして、読書は心と頭の貯金箱です。皆さんもいろいろな本と出会ってみてください。